

法學政治學論究

法律・政治・社会

第 137 号

営業秘密侵害の準拠法	セレナ・フランコ
「電信革命」が促したジャーナリズムの変容	
一八四四—一九〇〇年	杉山文彦
オズワルド・モズリーと戦間期イギリスにおける議会主義批判	山本みづき
一九世紀初・中期のドイツにおける召喚権と出席権の展開	太田竜司
韓国における在日韓国人支援政策の起源と政権間の連続性、	
一九五九—一九六一年	成瀬友裕
カルテル法制史から見る「競争」と「規制」	廣瀬翔太郎
EC・コメコン共同宣言をめぐる東西交渉、一九八五—一九八八年	堀田主
解放党の「カリフ制国家」構想	山岡陽輝
「集団安全保障」と「平和的変革」の調和を目指して	水野良哉
レスター・ピアソンと国連緊急軍の設立、対英関係と対米関係の	
はざままで	瀬戸口優里
中国における全体主義的政権の形成と中国民主同盟	蒲柢華
欧州における薬事データの薬事規制に基づく知的財産的保護と	
Regulatory data protection (RDP)/Exclusivityにおける	
「データ」保護の実態	駒谷剛志

慶應義塾大学大学院法学研究科内

法学政治学論究刊行会